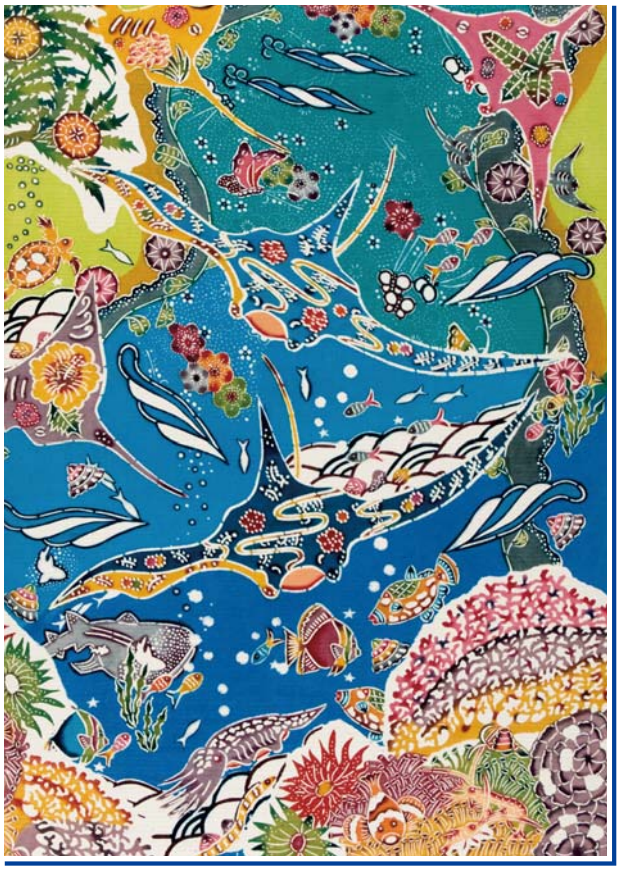
第17回 りゅうぎん紅型デザインコンテスト受賞作品決定!

りゅうぎん紅型デザインコンテストのホームページ
http://www.ryugin.co.jp/kouken/bingata/17/bingata17.htm

りゅうぎん紅型デザイン展オープニングセレモニー

りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式


大賞「うちな～の宝・心の海」　金城 裕子 作

琉球銀行は、文化支援活動の一環として、県内の若手工芸家の育成と伝統工芸である紅型を広く紹介することを目的に、りゅうぎん紅型デザインコンテストを毎年開催しています。

十七回目となる今年は、十六歳から六十六歳までの幅広い年代から、前年に比べて三作品多い七十二作品の応募がありました。

その力作の中から、金城裕子さん作「うちな～の宝・心の海」が大賞に選ばれました。大賞作品は琉球銀行の二〇〇九年カレンダーの図柄として採用され、入賞作品はキャッシュカードや通帳、ティッシュなどの頒布品の絵柄に採用されます。

審査委員の名渡山愛擴氏は、大賞作品について「紅型の歴史は五〇〇年と言われており、うちなーんちゅの持つおおらかさや優しさが含まれている。五〇〇年先のうちなーんちゅにも伝わる作品作りを心がけて欲しい」と励ましの言葉を与えています。

受賞は逃しましたが、高校生から二十九作品の応募があり、沖縄の伝統工芸の担い手になる若者も育ってきています。

八月にリウボウホールで実施した受賞作品展示会では、紅型を身近な工芸として親しんでいただけるよう「紅型手作り無料体験コーナー」を設けました。体験コーナーでは、夏休み期間中ということもあり、多くの親子が協力して紅型制作に取り組む姿がみられ、伝統工芸である紅型に対する関心の高さがうかがえました。

琉球銀行のホームページには、第一回から第十七回までの受賞作品と審査委員長の解説、過去の大賞作品をすてきな音楽とともに紹介するギャラリー、受賞作品の壁紙ダウンロードコーナーを掲載しています。是非アクセスしてください。

※りゅうぎん紅型デザイン公募展は、第十七回（平成二十年）より、りゅうぎん紅型デザインコンテストに名称を変更しました。

～経済と環境について学ぼう～ 第６回 りゅうぎんキッズスクール 開催！

琉球銀行では、二〇〇三年から小学生向けの金融教育の一環として、夏休み期間中に「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。六回目の開催となった今年は、「経済教室」に「環境ミニセミナー」を加え、名称を「りゅうぎん子ともお金教室」から「りゅうぎんキッズスクール」へ名称を変更して、沖縄県立博物館・美術館で開催しました。四日間で二百六十三名の小学六年生が参加し、前半は「お金の大切さ」や「社会でのお金の流れ」を楽しく学ぶ「トレーディングゲーム」を体験。後半は、沖縄の自然環境やアウトドアの楽しさをビデオや道具にふれながら学ぶ「環境ミニセミナー」を開催しました。

参加者からは「思ったよ難しかったけど楽しかった。弟や妹にも紹介したい」「お金について興味をもった」「銀行の仕組みがわかった」「沖縄の自然を大切にしたい」など多くの感想をいただきました。

りゅうぎんキッズスクールは、琉球銀行のCSR活動（企業の社会的責任）の一環として、時代のニーズに合った新しい企画を盛りこみながら継続的に実施していきます。

環境ミニセミナー

経済教室

琉球銀行も みんなで止めよう温暖化 チーム・マイナス6% に参加しています！

琉球銀行では、七月から地球温暖化防止を目指す「チーム・マイナス６％」（環境省京都議定書目標達成のためのアクションプラン）に参加しています。

琉球銀行は、これまでも夏季に全職員がかりゆしウエアを着用するクールビスの実施や環境に配慮した住宅建築資金のローン金利を優遇する「エコ住宅ローン」の発売、預金金利の一部を環境に配慮した団体に助成する定期預金を発売するなど、環境に配慮した取り組みを実施してきました。

現在も、営業店ロビーや執務室内の温度コントロールによる電気使用量の削減や紙の電子化による紙の使用量削減、エコドライブの推進などに取り組んでいます。

今回の「チーム・マイナス６％」の参加を契機に、さらに地球温暖化防止を目指した環境対策に取り組んでまいります。